

全社ストレスチェック実施

トッパンではストレスチェックが法制化されるより以前から全社員を対象に「こころの健康診断」を実施していました。2017年度からはWebを活用した受検方法を導入し、全社で一斉に実施しています。これによって受検者本人と実施者がすぐに判定結果を確認できるようになり、高ストレス者へのいち早いケアが可能となりました。2018年度からは「新職業性ストレス簡易調査票(80問)」を導入するとともにコンディションに関するオリジナル項目を追加・分析して独自の知見を蓄積することで、メンタル不調を防ぐためのセーフティネットづくりを目指しています。集団分析に関しても、組織ごとのきめ細かい分析をマネージャー層に

フィードバックし、健康リスク値の高い職場を中心に職場環境改善の取り組みにつなげています。ストレスチェックは個人だけでなく「組織の健康状態」を把握する貴重なデータであり、このデータを活用して「メンタル不調者の出ない職場づくり」を推進していきます。



「安全道場」海外開設

2017年10月にタイ・サイアムトッパン、2018年1月に中国・リーフオン東莞工場に「トッパングループ安全道場(以下安全道場)」を開設しました。海外2カ所の「安全道場」では、これまで国内で培ってきた知見を活かし、また海外事業所の実情に合わせた展示、体感設備の導入と、運用体制の構築を行っています。運用体制については、国内と同じように安全師範を現地に養成し、定期的に現場オペレーターを集めて、安全教育を実施しています。また、2019年5月には米国の4事業所で、11月からは中国、台湾のジャイアントプラスにて安全道場体感機によるキャラバンを実施し、安全に強い人材の育成をしました。2020年度中にはインドネシア、タイでも安全道場キャラバンを実施する予定です。

これまでに国内外合わせて、2019年度は3,500名が安全道場を受講し、開設以降のべ受講者数は35,000名を超えました。



ニュースリリース「凸版印刷、『安全道場』を海外開設」
<https://www.toppan.co.jp/news/2018/03/newsrelease180308.html>

職場の安全・衛生

2019年度も災害ゼロを目標に活動を行い、過去3年間契約社員も含め死亡災害は発生していません。

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
労災による死亡者	0名	0名	0名	0名	0名
度数率 ^{※1}	0.05	0.000	0.000	0.048	0.144
強度率 ^{※2}	0.001	0.000	0.000	0.001	0.003

※1 100万のべ実労働時間当たりの労働災害による休業災害件数で、災害発生頻度を表す

※2 1,000のべ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す

安全ミーティング

人事労政本部(安全衛生・防火推進部)と製造統括本部が連携し、安全衛生リスクの軽減に向けた安全衛生活動および現場の設備の安全対策について評価・協議するための安全ミーティングを全国各事業所に実施しています。

2018年度は26事業所、2019年度は35事業所を対象に実施しました。2020年度については事業所を絞り、20事業所を重点的に実施する計画です。今後はWebなども活用し、より効果的な安全活動を行っていきます。